



# たいせい 大生だより NO.22

福島市笹谷字新町裏 6 番地の 1 024-573-4022



ホームページ  
フェイスブック  
ツイッター

taisei-shinobunosato.jp  
facebook.com/taiseishinobu  
twitter.com/egao\_tomato  
R5.6.7 発行

## グループホーム 外出レク いちご狩りに行きました。

グループホームでは、余暇支援の一環としていちご狩りに出掛けてきました。相馬・霊山・飯坂の3コースに分かれて実施となりましたが、いちご狩りが初めてという方も多く、緊張の様子も見られましたが、ひと口食べてからは一様に笑顔が溢れ、「おいしい!」「あまい!」という声がハウス内で聞こえていました。「また行きたい!!」という声もすぐに聞かれ、充実した余暇活動の中によろやく日常に戻ってきたと感じることが出来た一日でした。  
(管理者：伊藤)



## 通所事業所 食レク バーベキュー



就労・生活介護事業所では、5月の恒例行事であるバーベキューが行われました。通所事業所同士の交流を図りながら「これから暑い季節を迎えますが、みんなで作業をがんばりましょう!」と鋭気を養いました。前日から仕込みをしてくれた厨房職員、お疲れ様でした。いつも美味しい昼食をありがとうございます!

今回、火の担当をしてくれたのは、就労のSさんとKさんです。扇が弱く何度か火が消えてしまい、理事長に教えてもらう場面もありました。また一つできることが増えましたね♪次は何の食レクでしょうか!?楽しみですね。



## 生活介護 駄菓子屋さんでお買い物

5月のお楽しみ会活動は「駄菓子屋さん」でした。

- ① 予算内で好きなお菓子を選ぶ。
- ② お金を支払う。
- ③ 袋詰めをする。

の、お買い物の流れを確認しながら行いました。

お楽しみ会では、社会生活に必要なことを楽しみながら学ぶ機会として、いろいろな活動を提供していきたいと思います。(サビ管：佐藤)



## たいせいジャンダルム～放課後等デイ～



「けんけん・ぱ！」元気いっぱい楽しそうな声が聞こえてきます。お子さん達の声はいつも癒しです。敷地内の道路にチョークで〇が書ける放デイはジャンダルムだけではないでしょうか！！

「けんけんぱ」にはたくさんメリットがあります。「跳ぶと進む」2つの動作で、体を自由に動かせる訓練になり、リズム感覚や体幹、足腰を鍛えることができます。跳ぶことが難しいお子さんは、「〇に足を入れる」ことをルールにして参加しています。個々のめあてに合わせて運動を行っています。

## 就労B お仕事紹介

### ～わらのわ製作・農福連携・トマト出張販売～

「わらのわ」ってご存知ですか？「共生社会ふくしま実現協議会」が窓口となり、商工会議所さんのご協力のもと市内の福祉事業所で取り組んでいる作業です。この「わらのわ」を両手に持って、誰でも楽しくわらじ踊りに参加することができます。皆さんが作った「わらのわ」で、今年のわらじ祭りが一層賑わうといいですね！YouTubeに踊り方がでています。

片平農園さん（飯坂）の農園でリンゴの摘蕾作業のお仕事をさせていただきました。大きい実を残し、周りの小さい実を取ります。トマトの花とりと同じです。片平社長様は、「支援員さんがしっかりしているので、安心して任せています。農業は天候や時期に左右されるが、お互い無理をせず、やれる範囲（任せられる範囲）で負担に感じないよう気持ちよく仕事をしていくことで、農福のよい形が作れると思います」と、お話しをしてくれました。もうすぐ、ぶどうの傘かけのお仕事も始まります。

就労B事業所「なのはなの家」様よりトマトのご注文をいただき、利用者さん2名と一緒に出張販売に行ってきました。なのはなの家さんは、聴覚障がいの方を中心に、会津木綿を使った手作り製品やお菓子の製造等をしていて、コミュニケーションには手話を使っています。今後、利用者さんに「ありがとう」の手話を覚えていただき、次回伺った時は「ありがとうございました」と手話でお礼を伝えられたらと思っています。

ありがとう →



### 大生信夫の里 空き状況 (6/2 現在)

- ✿ グループホーム 男性3名・女性2名
- ✿ 就労B 空きあります。
- ✿ 生活介護 空きあります。
- ✿ 放課後デイ 空きありません。
- ✿ 日中一時 空きあります。



編集後記： 5/19の職員総会を行いました。4事業所の職員が集まり、理事長より法人理念の確認、施設長からは4年度の実績報告が行われました。グループホーム管理者から「今年度は自立応援体験事業に力を入れたいので、日中活動場として通所事業所には協力をお願いします」との話がありました。顔を合わせ、職員みんなで運営について共通理解を図ることは大切と考えます。自己紹介の一言では思わず笑いがでたりもして和やかな雰囲気となりました。 木戸